

# 第1期中期目標期間の達成状況に関する評価結果

電気通信大学

平成23年5月

独立行政法人大学評価・学位授与機構



## (I) 教育に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 「教育に関する目標」に係る中期目標（4項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

(参考)

平成16～19年度の評価結果は以下のとおりであった。

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 「教育に関する目標」に係る中期目標（4項目）のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### ① 教育の成果に関する目標

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 平成16～19年度の評価結果は「教育の成果に関する目標」の下に定められている具体的な目標（5項目）のうち、1項目が「良好」、4項目が「おおむね良好」であったことから、「中期目標の達成状況がおおむね良好である」であった。

平成20、21年度の達成状況を踏まえた結果は、1項目が「良好」、4項目が「おおむね良好」とし、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「学業の成果」「進路・就職の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### <特記すべき点>

##### (優れた点)

- 中期計画「大学院教育では、問題解決型、課題追究型の授業、個別指導をもって、高度コミュニケーション科学のメッカとして、ハードウェア、ソフトウェア、ヒューマンウェアに関する理論から設計、開発、運用に至るまでの高度で、先駆的な教育を施す」について、「問題設定型光科学教育プロジェクト」、「メカノインフォマティクス・カデット教育」、「実践的テクノロジスト育成プログラム」等が、「魅力ある大学院教育」イニシアティブ等の教育支援プログラムに採択され、高度で先駆的な教育を実践し問題解決型・課題追究型の人材を育成していることは、優れていると判断される。

##### (特色ある点)

- 中期計画「「ロボメカ工房」、「電子工学工房」に代表されるような体験教育の場を拡充する」について、ものづくり教育を高める教育を行い、「ロボメカ工房」等の体験教育の場を拡充して特許出願やロボカップ世界大会優勝を含むコンテスト受賞等の成果

を上げていることは、特色ある取組であると判断される。

## ② 教育内容等に関する目標

### 【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 平成 16 ～ 19 年度の評価結果は「教育内容等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4 項目）のすべてが「おおむね良好」であったことから、「中期目標の達成状況がおおむね良好である」であった。

平成 20、21 年度の達成状況を踏まえた結果は、4 項目のすべてが「おおむね良好」とし、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育内容」「教育方法」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### <特記すべき点>

##### (優れた点)

- 中期計画「学生の自主学習、能動的学習を支援するラボ、自習室等の学習環境を整備する」について、学生の自主学習意欲を高める環境整備に積極的に取り組み、言語自習室利用者数を格段に増やしたことは、優れていると判断される。
- 中期計画で「学習の意識を高め、又、プレゼンテーション能力、起業家精神を涵養するため、学生による全学的なセミナー、各種コンテスト、講演、シンポジウム、外国人学生との交流、外国人研究者等による講演会その他の学術活動を活発に行う」としていることについて、学生による学内コンテストの開催や学外コンテストへの参加を通して学習意識を高め、プレゼンテーション能力や起業家精神を涵養したことは、優れていると判断される。

##### (特色ある点)

- 中期計画「学生の学習意欲を高めるため、現在実施している学長表彰や同窓会賞などの顕彰制度の充実を図る」について、学生の学習意欲を高めるための表彰制度を充実させ、研究活動、学業成績等において顕著な成果を上げた多くの学生や団体を表彰していることは、特色ある取組であると判断される。

## ③ 教育の実施体制等に関する目標

### 【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 平成 16 ～ 19 年度の評価結果は「教育の実施体制等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（3 項目）のすべてが「おおむね良好」であったことから、「中期目標の達成状況がおおむね良好である」であった。

平成 20、21 年度の達成状況を踏まえた結果は、3 項目のすべてが「おおむね良好」とし、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「教育の実施体制」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### ＜特記すべき点＞

##### （特色ある点）

- 中期計画「ネットワーク環境（e-教室設備、電子掲示板、無線 LAN ステーションの設置等）を整備する」について、学内公募による e-learning コンテンツの企画開発を支援し、平成 19 年度末現在、108 のコンテンツを e ラーニング推進センターが運用管理していることは、特色ある取組であると判断される。

#### ④ 学生への支援に関する目標

##### 【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

（判断理由）平成 16 ～ 19 年度の評価結果は「学生への支援に関する目標」の下に定められている具体的な目標（5 項目）のうち、1 項目が「良好」、4 項目が「おおむね良好」であったことから、「中期目標の達成状況がおおむね良好である」であった。

平成 20、21 年度の達成状況を踏まえた結果は、1 項目が「良好」、4 項目が「おおむね良好」とし、これらの結果を総合的に判断した。

#### ＜特記すべき点＞

##### （優れた点）

- 中期計画「保健管理センターを中心に、心理面、精神面、肉体系の健康相談を充実させ、さらに健康スポーツ関係の教員と連携した総合的な健康管理プログラムについて検討する」について、関係する教員間の連携を通して総合的な健康管理に取り組み、多くの相談実績を上げたことは、優れていると判断される。
- 中期計画「TA・RA 等の雇用拡大を図り、学内外に資金を求める方策について検討する」について、学内リサーチ・アシスタント（RA）制度を創設し、学内予算措置によって収容定員数の約 4 割に当たる大学院博士後期課程学生を毎年度雇用していることは、優れていると判断される。

##### （特色ある点）

- 中期計画で「独自の奨学金制度の導入について検討する」としていることについて、奨学寄附金共通経費を財源として、短期留学プログラム生として受け入れる学生に対して奨学金（渡日一時金 15 万円、月額 8 万円）を支給していることは、特色ある取組であると判断される。

## (Ⅱ) 研究に関する目標

### 1. 評価結果及び判断理由

**【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である**

(判断理由) 「研究に関する目標」に係る中期目標（2項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

(参考)

平成16～19年度の評価結果は以下のとおりであった。

**【評価結果】 中期目標の達成状況が良好である**

(判断理由) 「研究に関する目標」に係る中期目標（2項目）のうち、1項目が「非常に優れている」、1項目が「おおむね良好」であり、これらの結果を総合的に判断した。

### 2. 各中期目標の達成状況

#### ① 研究水準及び研究の成果等に関する目標

**【評価結果】 中期目標の達成状況が非常に優れている**

(判断理由) 平成16～19年度の評価結果は「研究水準及び研究の成果等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（4項目）のうち、2項目が「非常に優れている」、2項目が「良好」であったことから、「中期目標の達成状況が非常に優れている」であった。

平成20、21年度の達成状況を踏まえた結果は、2項目が「非常に優れている」、2項目が「良好」とし、これらの結果に加え、学部・研究科等の現況分析における関連項目「研究活動の状況」「研究成果の状況」の結果も勘案して、総合的に判断した。

#### <特記すべき点>

##### (優れた点)

- 中期計画で「高度コミュニケーション科学の基礎と応用の研究に新しいパラダイムを築く」及び「多種多様な情報を、誰でも、いつでも、どこでも、高速、安全かつ容易に活用可能なユビキタス・コンピューティング、高性能コンピューティング、高性能・高信頼性ネットワークに関する理論、技術、及び実践の研究」を推進することについて、最先端の情報通信技術に特化して研究を推進する先端ワイヤレスコミュニケーション研究センターを設置し、高度情報通信技術（ICT）領域において、研究拠点形成を目指した多数の優れた研究成果を上げたことは、優れていると判断される。
- 中期計画で「情報伝達の媒体としての光波・電磁波・音波・物質波などの広範な波動現象の基礎科学とその工学的応用技術に関する総合的な波動科学の研究開発」を推

進ずるとしていることについて、世界水準の創造的研究成果を多数発表するとともに、世界レベルの若手研究者の育成に努めたことは、優れていると判断される。

### (特色ある点)

- 中期計画「教員が学科や研究科の枠組みを外れ、機動的に離合集散し、常に新分野の共同研究に対応可能な体制を整える」について、学科・専攻の枠を超え学内横断的で改廃が容易な組織である研究ステーションの設置を推進し、平成19年度末現在で18ステーションを立ち上げていることは、特色ある取組であると判断される。

## ② 研究実施体制等の整備に関する目標

### 【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である

(判断理由) 平成16～19年度の評価結果は「研究実施体制等の整備に関する目標」の下に定められている具体的な目標(3項目)のうち、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」であったことから、「中期目標の達成状況がおおむね良好である」であった。

平成20、21年度の達成状況を踏まえた結果は、1項目が「良好」、2項目が「おおむね良好」とし、これらの結果を総合的に判断した。

### <特記すべき点>

#### (優れた点)

- 中期計画「学内の研究資金は、COE 拠点形成組織、研究ステーション、学内公募によるプロジェクト研究などに重点的に配分する。これを円滑に実施するため、研究計画や研究成果などを厳正に評価し、適切に研究資金配分に反映させるための手法の確立を目指す」について、厳正な事前・事後評価を通じた戦略的な資金配分を行ったことは、研究・教育の活性化につながっている点で、優れていると判断される。

### (特色ある点)

- 中期計画で「研究活性化のために、若く有能なポスドク、RA等を積極的に研究に参加させる体制を整備する」としていることについて、学内RA制度、UECポスドク研究員制度、若手研究者海外派遣研究員制度、テニュアトラック制等の支援を通して若手研究者の育成に努めていることは、特色ある取組であると判断される。

## (Ⅲ) その他の目標

### (1) 社会との連携、国際交流等に関する目標

#### 1. 評価結果及び判断理由

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

(参考)

平成16～19年度の評価結果は以下のとおりであった。

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 「社会との連携、国際交流等に関する目標」に係る中期目標（1項目）が「おおむね良好」であることから判断した。

## 2. 各中期目標の達成状況

### ① 社会との連携、国際交流等に関する目標

**【評価結果】 中期目標の達成状況がおおむね良好である**

(判断理由) 平成16～19年度の評価結果は「社会との連携、国際交流等に関する目標」の下に定められている具体的な目標（2項目）のすべてが「おおむね良好」であったことから、「中期目標の達成状況がおおむね良好である」であった。

平成20、21年度の達成状況を踏まえた結果は、2項目のすべてが「おおむね良好」であることから判断した。

#### <特記すべき点>

##### (優れた点)

- 中期計画で「同窓会や地域社会との連携を強め、既に実施している地域の小学生向けの理科教室やものづくり教室を更に推進する」及び「地域・産学官連携推進機構（仮称）を通し、TLOや本学同窓会と連携協力して活動を展開し、民間企業等との共同研究、受託研究などの一層の推進を図る」としていることについて、工作教室や少年少女発明クラブ等の理科教育支援を実施し毎回多数の応募者を得て地域から高い評価を得ていること、及び産学連携による多数の共同研究や受託研究の実績があることは、優れていると判断される。

##### (特色ある点)

- 中期計画「地域・産学官連携推進機構（仮称）を通し、TLOや本学同窓会と連携協力して活動を展開し、民間企業等との共同研究、受託研究などの一層の推進を図る」について、知的財産本部において、共同・受託研究英文契約書モデルを国立大学で初めて作成していることは、特色ある取組であると判断される。

##### (顕著な変化が認められる点)

- 中期計画「地域社会への貢献を大学の重要な一機能とし、地域・産学官連携推進機

構（仮称）の中に地域との連携を専門に担当する部門を設置する」について、平成 16～19 年度の評価においては、「おおむね良好」であったが、平成 20、21 年度の実施状況においては、地域貢献活動を推進するため、地域・産学官連携推進機構を見直し、新たに「社会連携センター」を設置し、学生ボランティア活動への組織的支援や職員・学生共同での学内外の清掃運動等の取組を推進したことに加え、調布特別支援学校との連携協定を締結した。また、渋谷区が進める「こども科学センター」設置及び理数教育重点校化にあたってのプラン作り等の支援の実績により、渋谷区教育委員会との連携協定の締結がなされたことから、「良好」となった。